

【第16回 佐賀県豚熱対策本部会議】 9月7日 10:00

農林水産部長／患畜決定から157時間経過、7日目に入った。9時現在の進捗状況は、殺処分頭数が9,206頭。昨日9時と比較すると700頭の増加。1時間当たりの殺処分頭数は、夜間で30～40頭。昨日は、昼過ぎに気温が上昇し、作業を一時中断した。今回の農場は18棟あり、うち17棟の殺処分が終了。

フレコンバッグは、約2,000袋を埋却溝に投入。滞留はない。

作業動員数は、県が148名。建設業から殺処分の運搬と埋却溝、消毒ポイントに41名。唐津市が34名、うち殺処分班に20名。JAからフォークリフトのオペレーター、派遣獣医師が6名、森林組合から2名、合計242名。延べ動員者数は、6,359名。

昨日の体調不良者は、夜間に3名。

農林水産副部長／殺処分は、円滑に進むようになった。自衛隊との作業時と比較すると、2/3くらいのペース。

現地では、県職員と建設業者が、情報共有して作業が円滑に進むよう、連絡体制を強化。また、雨で足元がぬかるんでいる箇所にゴムマットを敷き、滞りなく作業が進むよう工夫している。作業者には、モチベーション高く作業を続けてもらっている。

健康福祉部長／体調不良者3名は、県職員男性1名、女性2名。頭痛、吐き気、立ちくらみ等があり、軽い熱中症とみられる。いずれも軽症、その後回復した。

農場外テントにスポットクーラーを配置し、暑さをしのげるようになった。引き続き体調に気をつけ、業務に当たってほしい。

大塚製薬と包括連携協定を結んでいる。イオンウォーター500ml1箱24本入りを30箱いただき、現地に届けた。

鳥栖市の医療福祉専門学校緑生館の看護学生たちは、保健福祉事務所で実習体験の予定だった。しかし、豚熱が発生し、実習のカリキュラムを変更。学生から、多くの応援メッセージが届いた。

県土整備部長／消毒ポイントは、6日0時～24時の作業台数が143台。これまでで最多。平日は、朝から消毒に来る人が多い。

8日、9日は、多久市で牛の競りがある。畜産車が増加する可能性があり、唐津市内の消毒ポイントを増員して対応する。

農林水産部長／防疫措置の流れは、埋却溝に投入、石灰を振り、埋め戻す。その後、全豚舎を消毒。防疫作業員が着ていた防護服等の汚染物品や餌を埋める。そこまでが

終わり、防疫措置は終了する。

防災監／7日の9時時点で9,200頭の処理を終えた。残りは1棟、1,000頭を切った。殺処分の豚を入れたフレコンバッグの滞留もない。順調に作業は進んでいる。このまま進むと、8日の夜から9日の未明に殺処分は完了できると見込んでいる。

建設業協会を始め、ご尽力いただいた全ての関係者の皆さまに、改めて感謝申し上げます。殺処分終了後は、場内の消毒や汚染物品の処理、最終的な埋却などの防疫作業が残っている。引き続き協力をお願いします。

今日も大変暑くなる。くれぐれも安全第一に作業を進めてほしい。養豚農家の皆さんは、消毒の徹底を図り、何かあれば速やかに県に報告をしてほしい。